

No.100

やあ!特集 100号記念  
TIAニュースやあ!の歩み

- |          |                                     |
|----------|-------------------------------------|
| ようこそとちぎへ | AFS留学生                              |
| 世界をペロリ   | フランス研修員<br>セバスティアン スカニュさん           |
| 心に残る私の写真 | ベトナム料理「チエ・ダウ・ダ」                     |
| 国際理解への扉  | マレーシア 屋代英二さん<br>「青年海外協力隊、隊員数3万人突破!」 |

世界のスイーツ SWEETS  
～フランス編～



マカロンの起源は16世紀にフランスの国王アンリ2世のもとに、伝えられたものとされています。最もポピュラーなものは表面がすべすべしたクリームを挟んだ「マカロン・パリジャン」。現在、何百種類もあるマカロンはフランス菓子の代表です。

毎年AFSでは留学生を受け入れていますが、今年は6名の留学生が、それぞれ、各地区的ホストファミリー宅にホームステイしながら、県内の各高校に通学し、日本の高校生と同じように高校生活を送っています。

**AFSとは…** 高校生を中心とする青少年の交換留学で50年以上の歴史を持つ文部科学省所管の団体です。

- ①氏名・愛称 ②出身国 ③生年月日（年齢）
- ④留学先（高校名）・部活動名等 ⑤趣味・特技
- ⑥栃木県の印象（人・町の様子）や日本で驚いたこと、やりたいこと。また母国の学校との違い等。



- ①EMILY HALSTED（エミリー）
- ②アメリカ バージニア州クリフトン
- ③1989.10.27（17歳）
- ④県立小山城南高校  
部活動：軽音楽部
- ⑤ギター、カラオケ、料理
- ⑥アメリカで日本のイメージは小さい、狭いと聞いていたが、小山は広かった。

木が多い。AFSの短期研修で名古屋に来たことがあるので、特にホームシックになることはなかった。また名古屋に行ってみたい。アメリカの学校には制服がなかったので制服は魅力的。日本の学生はよく勉強するが、アメリカではアルバイトとスポーツをするという感じ。日本と同じようにアメリカにも部活があるが日本ほど厳しくはない。校外にもサークルがある。日本は男女が何をするのにも分かれているのはびっくり。男は男友達、女は女友達。日本の学生は先生との接し方がまるで友達のようで不思議だった。



- ①Mathis Alexander Warlo（マティス）
- ②ドイツ ダルムシュタット
- ③1990.07.16（16歳）
- ④県立宇都宮北高校  
部活動：IEC、柔道
- ⑤ブレイクダンス、空手、カラオケ
- ⑥日本はドイツと大きく違う部分が多い。

宇都宮の市街地に電柱があるのに驚いた。（ドイツでは街中に電柱はない。）車道が逆。宇都宮の繁華街は点在した感じが多いように感じた。ドイツの学校は小学校4年中学は9年で制服も、担任もない。ドイツは宿題の量が多く、よく勉強するが、日本の学生はあまり勉強しない。空手は小さいときからドイツの正道会館で9年やってきた。

## 平成19年度「とちぎ留学生奨学金」合格者決定!!

### とちぎ留学生奨学金とは…

（財）栃木県国際交流協会が栃木県の補助で行う「とちぎ留学生奨学金」と企業等からの寄付で行う「とちぎ留学生民間奨学金」の2種類があります。ともに学業・人物ともに優秀で、将来本県と経済や文化面での交流など、栃木県と母県との懸け橋になってもらおうという主旨のものです。

今年度のとちぎ留学生奨学金に見事合格された、栃木県内の大学に学ぶ23名の留学生へのガイダンスおよび奨学金交付式が、7月4日(水)にとちぎ国際交流センターで行われた。まず、栃木県や栃木県国際交流協会（TIA）の事業を知つもらうためのガイダンスが行われ、栃木県国際課の栃木県のあらましなどの説明のあと、TIAの地域活動やとちぎ国際交流センターの紹介を行った。

続いて行われた奨学金交付式には、栃木県国際交流協会の海老沼理事長より、一人ひとり奨学金の交付決定通知書が手渡され、県の奨学生として積極的に地域との交流に励んでほしいとのあいさつがあった。その後の懇談会では、各奨学生の自己紹介のあと、自分たちの希望する地域交流計画について、発表する機会があり、意欲的に発表する場面も見られた。



①Diego Incer（ディエゴ）  
②コスタリカ サンホセ市  
③1989.4.1（18歳）  
④県立栃木翔南高校  
⑤サッカー、ギター（弾くのも聞くのも）  
⑥日本は緑が多いと思う。街中に高いビルが少ない。学校生活は大体コスタリカとは同じようだが、違いはサッカーが盛んな所。日本語がたくさん話せるようになりたい。また、日本でたくさんの友人をつくりたい。



①Martin Boström（マーティン）  
②スウェーデン ヨーテボリ市  
③1990.3.13（17歳）  
④県立宇都宮高校  
部活動：美術部（石膏・デザイン）  
⑤読書、ゲーム  
⑥鹿沼に住んでいるが人口が少ない。また店も少ない。夏が暑い。学校にはスウェーデンでは部活動がない。また、制服もない。授業ごとに教室が変わるが、日本は同じ教室。授業中、日本の学生は、静か。日本人は清潔と聞いていたが、体育が終わった後、シャワーを浴びないし、下着を取り替えたりしないのは不思議だった。



①趙 薇雯（zhao weiwen）（アボ）  
②中国 上海市  
③1989.12.18（17歳）  
④県立宇都宮北高校  
部活動：卓球部、茶道部、IEC部  
⑤パソコン、バドミントン  
⑥高速バスから眺めた風景は祖国と変わらなかった。イチゴ狩りは楽しい。中国と餃子の盛り付け方が違う。餃子を盛り付けるとき裏と表が逆だったので驚いた。日本の学校は楽だと感じた。宿題が少ないので上海の普通高校では部活動ではなく、制服は女子はズボンを履いているが、日本はミニスカートなのは驚いた。日本の弁当は楽しい。中国のお弁当とは全く違う。

このほか、今年度はフランスからはカサンドルさんが宇都宮女子高校にAFS留学生として来県しています。また、アメリカから半年の期間の留学生が栃木女子高校に1名、モンゴルから3週間の短期留学生1名が今市高校で勉強します。今年度はこれとは別に外務省が実施する東アジアの学生11人（教師も含む）のホームステイプログラムを12月に実施する予定です。



▲交付式に参加する奨学生たち



セバスティアンスカニュさん(19歳)  
SEBASTIEN SCANU

フランス・ヴォークリューズ県出身。友好交流青年相互派遣事業の研修生として、栃木県国際課で今年7月から約1ヶ月日本語及び日本文化を研修しています。

—セバスティアンさん、こんにちは!日本語がお上手ですね。  
セバ 今、フランスのリヨン第3大学の2年生なんです。専門は日本語なので、日本語ができるんですよ。以前、高校生のときに2週間ほど、日仏研修事業っていう高校生の交流で栃木県には来たことがあるんですよ。だから初めてではないんです。

—日本語を学ぶきっかけになったのは何ですか?

セバ 実は、私の父から16歳の頃、一冊の日本語を学ぶ本をもらったんです。最初は、それを独学で学んでいましたが、その後、興味を持ち日本語を大学で専門的に勉強してみたいと思ったんです。日本へ交流に行った時の友達



▲フランスの大学の授業風景

とパソコンでチャットやメールをしていくうちにだんだん日本語に興味を持ったというのも理由のひとつだと思います。

—フランスでは日本語を学ぶ人は多いんですか?

セバ 全体数からするとそんな多くはないと思いますが、自分のように日本語を専攻している人は、漫画やアニメが好きな日本語でいう「オタク」な人が多いと思います(笑)。実はフランス語にもこの「オタク」という言葉があります。あとは、日本人の恋人を作りたいと思って勉強する人も少なくはないですね(笑)。

—日本に来て、驚いたことはありますか?

セバ フランスと全く違って嫌なことは、いわゆる男尊女卑ですかね。女性にコーヒーを持ってこさせたりする光景を何度か目撃しましたけど、あれはなじめません。それとフランスではこの季節だと夜の9時半か10時くらいに日が暮れるので、日本は夜になるのが早いと思います。あと、日本では田舎に行くと家や車に鍵をかけない人がいますが、これはフランスでは信じられないことです。

—これからどんな研修をしていきたいですか?

セバ 自分は日本語を専攻しているので、自然な日本語が話せるようになりたいですね。日本語上達のために、若い人との交流も行っていきたいです。また、自分の大学には関西からの留学生もいて、彼らの話す方言にも興味があるので、関西弁も覚えたいです。今回はせっかく栃木県に来たので栃木弁も学んでみたいです。あと、自分はジャグリングや手品ができるので、もし機会があったらぜひ、ミスター・マリックのようなマジックを披露してみたいです。

## 世界をペロリ

このコーナーでは世界のおいしい食べ物をレシピ付きで紹介します。



### ベトナム料理「チ・ダウ・ダ」

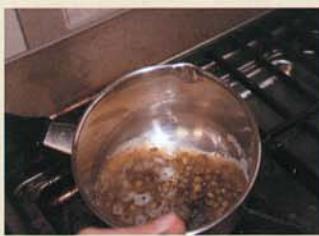
材料(5~6人分):

皮付き緑豆	200g
寒天(粉)	4g
味付あずき	2缶
ココナツミルク	400g
砂糖	大さじ3杯
塩	少々
片栗粉	少々
氷	人数分

今回、料理を作ってくれたのは、ベトナム出身の鈴木リューさん。最もポピュラーな夏の定番デザートベトナム風かきごおりを紹介してください。



▲一見パフェのような「チ・ダウ・ダ」



①緑豆を水に1時間くらい入れてふやかした後、鍋ににあけ、水500CC~600cc入れて、やわらかくなるまで煮る。(約30分程度)砂糖大さじ3杯、塩を少々加えて、冷水、氷で冷やす。



②別の鍋に、水を500ml入れ沸かし、お湯が沸騰したら寒天の粉を入れてかき混ぜ、とろみがつくまで煮立たせ、タッパ等にいれて冷やし固めてサイコロ状に切る。



③小鍋にココナツミルクを入れ、砂糖大さじ2杯、塩少々、水で溶かした片栗粉(少々)を加え、弱火でゆっくりとろみが出るまでかき混ぜ、バニラエッセンスを加えて火を止める。



④グラスにサイコロ状に切った寒天、緑豆、小豆、ココナツミルク、最後にかきごおりを加え、食べるときに全体を混ぜ合わせる。

TIA機関誌も当初の「とちぎ国際交流」から現在の「やあ！」へと変わり、今回で100号を発行することとなりました。今までの機関誌の歩みを綴ってみました。

▲創刊号は「とちぎ国際交流」  
からスタート

## ▶団体紹介及び 読者のひろば

The cover of the International Exchange Bulletin features a stylized globe icon on the left. The title "International Exchange Bulletin" is written in English at the top, and below it, the Japanese title "とちぎ国際交流" (Tochigi International Exchange) is displayed in large, bold, white characters. A photograph of a modern, white, angular building with a glass facade is centered on the cover. To the right of the building, there is a block of Japanese text. At the bottom, there is more Japanese text and a small logo for "YOKOHAMA INTERNATIONAL EXHIBITION CENTER".

#### ▲高校生フランス派遣及びブラジル女性訪問団来県

読者のひろば

★「レフェランス」って何?

「アーヴィング・ラムゼー」、ううう。  
パリで研究会を経て、研究室に戻って来た友人が突然「大爆発なイタリア語やろう」とよく言っていた。フランス語をイタリア語もラング地盤で似ようなどないのだというの。しかしよしよしよく話を聞いてみると、パリに在中に少し手を伸ばして、イタリア国境のベンチチャディアといふ土地に行き、その町のめめかし、美しさによはる歩道をしたうだ。老爺はそこぞうそうとういうのである。もちろんこんはピヤンガリ地盤でもフランス語とイタリア語の往来するところである。そんなところで、フランスなりのきつい日本人のイタリア語が、偶然にも通じてしまったから始末が悪かった。

電話を取りはず手綱を締めさせようとしたところ、一枚の書留券の右に「reference」という欄があった。何を書けばいいのかわからぬので、大家さんに聞いたが、その説明ではよくわからぬ。結局それは、電話加入者コードナンバーダットがあるので、実際電話しなければ、ひとつの言葉の意味で理解が難しかしいことがある。さらには、中国系の人のフランス語とか、北方・東方系のフランス語とか、お互いに通じないフランス語もあるそうだ。

しかし、そういう言葉と現実の振を少しつぶれていくことを文化理解力あろう。国語はそんないろいろな振を経てゆくことの上の気気がする。(真岡市・大崎徹)

リポート II

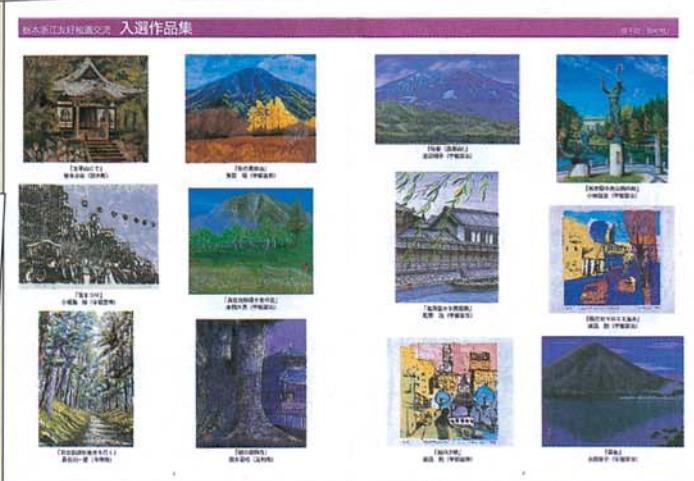
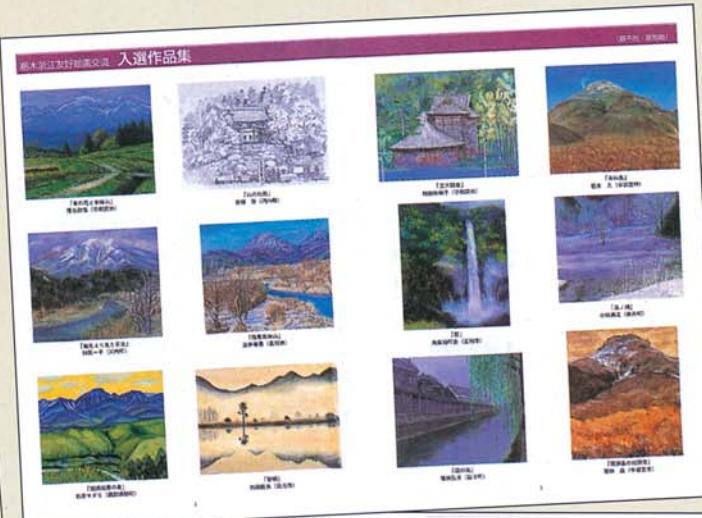
— ブラジル・サンパウロから教育事情等を視察に来県 —

A black and white photograph showing a group of ten individuals, consisting of both men and women, dressed in formal attire. They are standing in two rows against a background featuring a large painting of a landscape. The group appears to be posing for a formal group portrait.





◆中国浙江省杭州市にある栃木浙江友好会館  
「杜鵑樓」の各部屋に飾られた県民の絵画作品



## とちぎ 2000年11月25日・26日開催 インターナショナル フェスティバル2000



◆とちぎインターナショナル  
フェスティバル カメラルボ





▲とても優しいカウンターパートのクリスティー(イバン族)

### 誘拐!?

誘拐ではなくて、子供たちに目隠しをさせて、ロープと視覚以外の感覚を頼りにジャングルの中や、草原で遊ぶエキサイティングなネイチャーゲーム。今回はマレーシア3大湿地帯の一つである、ロアガン・ブヌ国立公園でのエコキャンプの模様。何も見えない中で素足で触れる泥の感触がたまりません。時々恐怖と不安で泣き出す生徒も(たまに大人でも…)。大自然を直接体感することによって、自然という存在が何か身近なものを感じることができます。



### ボーダレスの世界

目隠しをといた生徒たちは、水掛けとかをした先生たちにリベンジの開始。担がれて川に放り込まれます。生徒・先生、マレーシア人・日本人も関係なく、みんな満面の笑顔(泥つき)。でもたまに携帯電話ごと水に浸かってしまう先生もいるので、ゲームの前には準備が大切です。

このコーナーで紹介する写真とエピソードを募集しています。詳しくは、協会までお問い合わせください。

(☎028-621-0777)

## 情報発信

(国際協力機構JICA事業)

### JICA国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト2007

募集テーマ…世界のみんなが幸せになるために～私が考えること、できること。

例えば「本や新聞やテレビを通して感じた世界と私」「世界のこどもたちはいつも笑っているのだろうか」「あいさつからはじまる国際協力」「わたしのできる身近なボランティア」など、内容は自由です。

**■賞** 中学生・高校生(各)最優秀賞3名、優秀賞4名、審査員特別賞4名(賞状及び副賞として約1週間の海外研修旅行)国内機関長賞、(社)青年海外協力協会会长賞、学校賞、特別学校賞ほか応募された方全員へ参加賞をお送りします。

**■応募規定** ○中学生の部(400字詰原稿用紙3枚以内)○高校生の部(同4枚以内)  
作品は日本語のものに限ります。

**■応募締め切り** 平成19年9月12日(水) 当日消印有効

**■応募・問合せ先** ☎150-0012 東京都渋谷区広尾4-2-24 (社)青年海外協力協会内  
「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2007」係  
tel.03-3406-5274(直通)



<http://www.jica.go.jp/hiroba/join/sanka/essay/index.html>

## 新規留学生のためのガイダンス

栃木県の大学などに入学した留学一年生を対象にTIAの事業紹介、生活上のアドバイス、交流ティーパーティなどを5月19日(土)にとちぎ国際交流センターで行った。

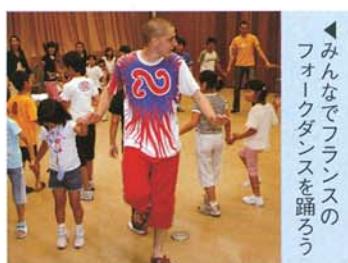
ガイダンスでは先輩留学生から日本語上達の方法や地域交流に関するアドバイスを受け、その後行われた交流会では、空手の演武や母国の歌や日本舞踊を披露するなど大いに盛り上がった。



▲体験談を語る先輩のパネリストたち

## わいわい地球っ子クラブ～ボンジュールフランス～

7月7日(土)にとちぎ国際交流センターでフランスをテーマに開催された。参加したのは、地球っ子クラブの小学校3年生～6年生の28名。フランス出身の国際交流員のロマン・ジョルダンさんと研修生のセバスティアン・スカニュさんをゲストにフランスの紹介の後、フォークダンスを踊ったり、最後はみんなで「スクーピー」でアクセサリーを作って楽しんだ。



みんなでフランスを踊ろう  
フォークダンスを踊ろう



▲アメリカ版  
せんだみつお  
“ゲーム”

## Club lycée

### クラブリセ「アメリカの若者との交流会」

高校生のための国際理解クラブが7月16日(月・祝)にとちぎ国際交流センターで行われた。今回はICEPという国際体験プログラムで来県したアメリカのYMCAの若者17名との英語を使った楽しい交流会。英語のアクティビティ、フォトランゲージ、書道体験、アメリカのゲーム紹介などを行い、会場は大変盛り上がった。



▲講座を楽しむ受講生

## 国際理解教育ファシリテーター養成講座

国際理解を深めるための授業やプログラムを進めるファシリテーター(進行役・プログラムの促進者)を育成する講座が6月30日(土)、7月1日(日)、21日(土)、22日(日)に鹿沼市で行われた。講師はグローバル教育などで活躍の桜井高志氏。11月には再び同じメンバーで集まり、実践プログラムの報告を行う予定となっている。

## 国際理解への扉/道の駅国際交流センター

6月11日(月)に60日間の語学訓練を終えた栃木出身のJICAボランティアの皆さんのが栃木県庁を表敬訪問、今回、平成19年度1次隊として派遣される6名が出発に向けての思いを語ってくれました。

<日系社会ボランティア>… 栃木県からは第1号!!

### ●田中はるみさん(ブラジル・日本語教師)

長年の夢が叶い、憧れの南米で活躍できるのがうれしい。健康管理に注意して、2年間の任務を全うしたい。ブラジル集団移住100周年を来年迎えるので、この節目の時期に滞在する幸運さを十分味わいたい。今までの知識を活用させたい。

### <青年海外協力隊>

### ●金子裕美さん(ボリビア・村落開発普及員)

南米にあるボリビアのサンタクルスで村落開発普及員として観光の仕事をします。自然を壊さない開発がしたいです。

# KEMUCO商楽

販売管理システム

### <機能紹介>

- ・受注管理
- ・在庫管理
- ・売上管理
- ・請求管理
- ・発注管理
- ・入金管理
- ・仕入管理
- ・売掛管理
- ・物流管理
- ・買掛管理

CTI等、サブシステムとの連携可能!

お客様にあわせたカスタマイズも可能!

**株式会社 ケイエムシー**

TEL:028-632-5111 FAX:028-633-7269

## 「青年海外協力隊、隊員数3万人突破」

### ●鳥羽めぐみさん(シリア・村落開発普及員)

中近東のシリア・ラタモアというところへ幼児教育で派遣されます。大好きな子供たちと共に2年間楽しんで活動してみたいと思います。

### ●森戸泰光さん(エルサルバドル、陶磁器)

首都サンサルバドルの障害者施設で陶芸を教えます。益子とサンサルバドルを結ぶよう頑張ります。

### ●館野直子さん(ラオス・村落開発普及員)

まずは応援してくれている家族や友人のためにも無事に元気に帰ってくること!せっかくの貴重な経験なので楽しんできます。

### ●淀川郁美さん(セネガル、日本語教師)

ラオスの南部のセコン県に行きます。就学率向上や学校と地域を結びつける教育活動をする予定です。現地で元気に活動し2年後日本に帰って来たいと思います。

JICAが派遣する青年海外協力隊は、日本の青年たちの海外に向ける熱い思いに道を開こうと、1965年にわが国政府の事業として発足しました。ラオスへの5人の派遣から始まり、この19年度1次隊の出発により3万人を超えることとなりました!!



▲県庁を表敬する  
派遣隊員

### ◆秋の募集説明会日程◆

	青年海外協力隊 (20~39才)	シニア海外ボランティア (40~69才)
9/29(土) とちぎ国際交流センター	14:00~16:00	10:30~12:30
10/14(日) 小山生涯学習センター	14:00~16:00	10:30~12:30

JICA 栃木デスク 松島愛実

# TIA Information Corner

## TIAの国際理解クラブ 会員大募集!!

高校生のための

### ● Club lycée

参加者からのアイデア大歓迎!  
国際的視野を身につけよう!!

活動内容 参加型セミナー、外国人との交流など

年会費 無料

小学3~6年生のための

### ●わいわい地球っ子クラブ

同じ地球で生活する仲間として、  
一緒に世界を学ぼう!!

活動内容 ゲーム、料理、工作、  
外国人との交流など

活動日 9/8(土)、12/8(土)、  
3/8(土)

年会費 1,000円

お問合せ (財)栃木県国際交流協会  
☎028-621-0777

## 中学生の作文コンテスト作品募集

作文を通して、国際協力や国際社会のあり方について理解を深める目的で、作文コンテスト栃木県大会を実施します。

### ●作文テーマ

「世界の子どもたちに平和の文化と非暴力の世纪を!」、「国連改革:もしも私が国連職員なら」、「地球に平和が訪れる日を目指して」のうちいずれか一つ。作文の内容は、学校、家庭、社会などにおける作者の研究や体験あるいは実践などを通し、国際連合について述べたもの。

### ●原稿

400字詰め原稿用紙4枚以内。原稿には標題、住所、学校名、学年、年令、氏名及び都道府県名を明記すること。(制限字数の中に含めること。)

### ●賞 優秀賞2篇、優良賞3篇、佳作5篇

優秀賞作品は全国大会へ推薦する。

(全国大会で特賞の4名は副賞として1週間のニューヨーク訪問を予定)。

### ●発表 平成19年9月下旬

\*受賞者は、10月6日(土)に「とちぎインターナショナルフェスティバル」会場で表彰する。

### ●募集締め切り 平成19年9月7日(金)必着

### ●応募・問合せ先

〒320-0033 宇都宮市本町9-14

(財)栃木県国際交流協会内 日本国際連合協会栃木県本部

☎028-621-0777 ☎028-621-0951

## 栃木県国際交流協会 事業案内 Tochigi International Association(TIA)

～とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室は  
どなたでも気軽にご利用できます～

### ■相談事業

在県外国人をはじめ県民の皆さまの国際交流・国際協力に関する相談に専門の相談員が  
応対

### ■機関紙の発行・情報提供

TIAニュース「やあ!」や在県外国人向け外国語情報紙の発行  
とちぎ国際交流センター内には情報交換のためのメッセージボードの設置

### ■各種イベント・講演会

国際交流促進や国際協力意識高揚を目的とした各種イベントや講演会の実施

### ■TIA協力者バンク

ホストファミリーバンク、インストラクターバンク、トランスレーター銀行の運営

### ■とちぎコミュニケーションネットワーク (TCN)

在県外国人のネットワーク。イベント等の情報提供、国際理解講座等への協力

\*この他さまざまな事業を行っておりますので、お気軽にお問合せください。

\*とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室はどなたでも気軽にご利用できます。会議室等の施設利用についてはご相談ください。

## 新規賛助会員の方々

団体:宇都宮国際ミュージカル研究会様

個人:猪熊博行様、滝口幸子様、

唐木田有作様、赤羽充雄様

～ご入会ありがとうございます～

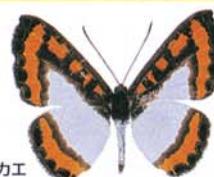
財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄付金の損金算入等の課税特別措置）の認定を受けています。当協会の事業にご賛同くださる各企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

## 〈編集後記〉

フランスからの研修生セバスティアンさんが栃木県で研修した。彼は現在では使わない「古風な」日本語を連発し、笑わせてくれた。ありがとうございます!

## 新たな発見 ブラジル・エコ・ツアー

日本列島が  
すっぽり入る大湿帯「パンタナール」  
釣、動物観察など7、8月が最適



ちらちらと可憐に飛ぶ  
ニンファディウム カイカウ

## ツニブラトラベル株式会社



東京都中央区八重洲2-7-7旭ビル〒104-0028  
Tel 03-3272-2865 Fax 03-3271-5319  
E-mail sato@tunibra.co.jp  
<http://www.tunibra.co.jp>

大阪・名古屋・浜松  
サンパウロ・リオデジャネイロ・イグアス・ペレン・マナウス  
東京都知事登録旅行事業 3-3906 日本旅行業協会正会員

## TIA ご案内図

### (財)栃木県国際交流協会 (とちぎ国際交流センター) Tochigi International Association (Tochigi International Center)

☆JR宇都宮駅より  
新幹線改札または戸祭行乗車  
県庁前下車徒歩5分

☆東武宇都宮駅より徒歩8分  
8min.from Tōbu Utsunomiya Station

☆宇都宮駅より徒歩5分  
5min.from Kencho-mae Stop.

☆市役所前バス停  
8min.from Tōbu Utsunomiya Station

☆市役所前バス停  
8min.from Kencho-mae Stop.

☆市役所前バス停  
8min.from Kencho-mae Stop.